

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

## 1 調査の概要

- (1) 調査の目的 児童生徒の学力・学習状況の把握と学習指導の改善を図る。
- (2) 調査対象 土岐市内全小学校8校の第6学年児童（426人）  
土岐市内全中学校6校の第3学年生徒（447人）
- (3) 調査内容 学力に関する調査（国語，算数・数学），生活と学習に関する調査  
※本調査で明らかにできるのは，児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分  
や学校における教育活動の一側面についてである。
- (4) 調査日 令和6年4月18日（木）

## 2 土岐市の現状

### (1) 学力について

\*全国の正答率と市の正答率の比較

（ ◎：上回る ○：ほぼ同じ □：下回る ）

国語		小学校	中学校
全体		○	○
学習指導 要領に関 すること	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	□	○
	(2) 情報の扱い方に関する事項	○	○
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	○	○
	A 話すこと・聞くこと	□	○
	B 書くこと	○	○
	C 読むこと	○	○

算数・数学		小学校	中学校
全体		□	○
学習指導 要領に関 すること	A 数と計算	□	○
	B 図形	○	○
	C 測定		
	C 変化と関係	○	○
	D データの活用	□	○

小学校では、国語の「言葉の特徴や使い方」、「話すこと・聞くこと」が全国平均より低い結果であることから、言語に関する基礎的な知識や技能の定着が課題と考えられます。算数では、「数と計算」、「データの活用」が全国平均より低い結果となりました。このことから基本的な計算力や数量感覚の育成、データの収集、分析、活用に関する力を高める必要があります。中学校では、国語、数学共に全国平均とほぼ同等の結果となりました。このことから、学力が、全国水準と同程度にあると考えられます。

## (2) 児童生徒質問紙調査の結果

<表の見方>

\* 「当てはまる」と回答した全国の児童生徒数の割合と、市の児童生数の割合の比較

◎：上回る    ○：ほぼ同じ    □：下回る

### ◆学校での学習について

#### ○ 主体的・対話的で深い学びの視点 「当てはまる」と回答した児童生徒

番号	質問項目	小学校	中学校
(29)	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	○	◎
(30)	これまでの学習では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	○	◎
(33)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	○	◎

#### ○ 個別最適な学びと協働的な学びの視点 「当てはまる」と回答した児童生徒

番号	質問項目	小学校	中学校
(32)	これまでの学習は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	○	◎
(37)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	○	◎

#### ○ ICT 機器の活用に関する状況 「ほぼ毎日」と回答した児童生徒

番号	質問項目	小学校	中学校
(27)	これまでの授業で、PC・タブレットなどのICT機器をよく使用していた	◎	◎

小中学校共に、自己表現力や課題解決力、協働学習の力が全国平均並み、又はそれを上回っていることから、小学校での基礎的な学習スキルを活かしつつ、中学校では、より主体的で対話的な学習活動が取り組めるようになってきていると考えられます。

ICT機器の活用に関する状況では、ICTを積極的に授業に活用する取組が小中学校共に行われています。教師はICT機器の活用を授業の中に取り入れ、児童生徒にも日常的にICT機器を活用する機会を設けています。これは、ICTを活用した効果的な学習活動を実践しようとする学校の姿勢であると考えられます。

## ◆家庭での生活や学習について

### ○ 学校や先生に対する思いに関する状況 「当てはまる」と回答した児童生徒

番号	質問項目	小学校	中学校
(10)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	○	◎
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	□	○
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか	○	○

### ○ 自己肯定感等に関する状況 「当てはまる」と回答した児童生徒

番号	質問項目	小学校	中学校
(9)	自分には、よいところがあると思いますか	○	○
(11)	将来の夢や目標を持っていますか	○	○
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○	○
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	○	◎
(25)	地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか	○	◎

### ○ 家庭での学習に関する状況

番号	質問項目	小学校	中学校
(21)	学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	□	◎
(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	□	○

※（21）（22）2時間以上と回答した児童生徒の割合

学校や先生に対する思いに関する項目において、小学校では、困りごとを先生や大人に相談できると回答した児童の割合が全国平均より下回る結果となりました。このことから、子ども達と先生との信頼関係を十分に築き、相談しやすい環境をより一層整えていく必要があります。「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」と回答した児童生徒の割合が全国平均並み以上という結果となりました。このことから、土岐市の子ども達は、社会貢献意識が高く、「人の役に立ちたい」や「地域・社会をよりよくしたい」という前向きな意識をもっていると考えられます。

家庭での学習に関する状況について、小学校では平日、土日とも2時間以上と回答した児童の割合が全国平均を下回る結果となりました。このことから、家庭での学習習慣や学習意欲に課題があると考えられます。中学校では、同質問において2時間以上と回答した生徒の割合が、全国と同等またはそれ以上という結果となりました。このことから、学校以外の場での学習習慣の定着が進んでいると考えられます。

### 3 今後に向けて

#### ◆市全体で取り組む授業づくり

##### 【終末からの授業改善】

授業のゴールを明確にし、児童生徒の姿をより具体的にイメージした授業を展開します。



「何ができるようになるのか」  
「何が分かったか。」を具体的にイメージした授業を目指します。



#### ◆今後の取組 小学校◆

##### 学習の定着

##### NEW! GIFU ウェブラーニング等の利活用

##### 【利活用の場】

・授業の終末 ・単元のまとめ・家庭学習等

##### 【学力向上推進委員】

- ・現時点の Web ラーニング等活用状況把握
- ・学習の定着・活用(応用)力の向上に向けた取組を各学校実施
- ・アンケート実施

#### ◆今後の取組 中学校◆

##### 定着度や主体性を向上させるための

##### 振り返りの位置付け

##### 【実施の場】

- ・授業の終末で振り返りの場を位置付ける。  
「本時何が分かったのか」「どう学んだのか」を振り返る。

##### 【学力向上委員】

- ・振り返りを位置付ける目的を職員・生徒に説明。
- ・アンケート実施